



公民館と町民センターは解体して公園に、 旧警部交番と旧警察官舎も解体して駐車場に！

ご挨拶

猛暑の夏も終わり心配した台風も何とか無事に通り過ぎて、紅葉の鮮やかな季節となりました。日頃は温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

3月定例会では「職員の給与と定員管理」および「自治会・町内会の現状と存続対策」について、9月定例会では「庁舎等公共施設の最適配置の推進」に向けて、一般質問を行いました。今回は、そのうち20年後の愛荘町に大きな影響を及ぼす「公共施設の最適配置」と「自治会・町内会の現状と存続」に絞って、行政の考えと課題を報告させていただきます。

どうか、最後までお読みくださいますよう、お願い申し上げます。併せて「議会だより」(No.66・67)もご覧いただければ幸いです。



もりの隆

かわら版

第4号

発行人 森野 隆

愛知郡愛荘町愛知川744-1

TEL 0749(42)6074

FAX 0749(42)5574

「公共施設の最適配置」については、昨年5月の「議会」の大きな賛同を得て進められる状況にない。機が熟した時には、改めて近づいてまいりたい」との町長メッセージから約1年4か月の空白期間を経て、ようやく7月23～24日に秦荘地区・愛知川地区でそれぞれ2回、住民説明会が開催され、44名の住民が参加されました。その後、YouTubeで町長の説明動画が配信され、**255回(10月26日現在)** 視聴されています。因みに、愛荘町の有権者数は約16,500人です。

そして、「**広報あいしよ**」10月号から、**住民に向けて「公共施設の最適配置」についての説明を開始されました。**計画の概要(別表)を見ると、解体・増築・改修などハード面の計画は具体的ですが、移動手段や活動場所の確保などソフト面の対策が具体的に説明されていません。最適配置の背景や効果

の説明も不十分で、住民からの意見も質問も求めています。

また、「住民説明会での主な意見・質問」として**4件を取り上げてQ&A**の形で掲載していますが、住民説明会で参加者から出された意見・質問は少なくとも60件ありました。特に、

- ① まちの将来像や計画の全体像との関連が分からない。
- ② 公民館や町民センターの機能を愛の郷が果たせるのか。
- ③ 秦荘庁舎の取扱業務の内容は何か。
- ④ 東部地域の活性化をどのように考えているのか。
- ⑤ 愛知川と秦荘間の移動手段はどうするののか。
- ⑥ 新保健センターを旧警部交番と旧警察官舎の跡地に建設してはどうか。
- ⑦ 地域総合センターは最適配置の対象にならないのか。

最適配置の概要 (カッコ内は今後の予定) ※全戸配布チラシに準拠

・役場庁舎



2つの庁舎に配置している課をすべて愛知川庁舎に配置 (R6.9)、秦荘庁舎には支所を設置。秦荘庁舎では、今までどおり戸籍や税などの業務に加え、取扱業務を拡大。1階は防災倉庫や団体事務所に活用、2階はサークル室や多目的ルームなど様々な用途に利用できる部屋に整備。

・保健センター



現在の愛知川保健センターの隣に新しい保健センターを建設し、健(検)診や各種相談業務を行う。これまでの業務に加え、子どもや家庭・妊産婦に関する総合的な支援業務を実施 (R6.4)。秦荘保健センターでは、引き続き地域の健(検)診等を実施。現在の愛知川保健センターは庁舎の一部として福祉部門が業務を行う。

・福祉施設



愛の郷の介護保険事業を移転し、いきいきセンターを総合的な福祉センターとする。愛の郷は社会教育機能・福祉機能を併せ持つ複合施設として改修 (R7.4 工事のため一時閉鎖、R8.4 複合施設としてスタート)、現在公民館で活動している方々も利用できるようにする。また、生活困窮者自立支援や権利擁護等の相談業務も引き続き実施。

・社会教育施設



愛知川公民館と町民センターは、ともに施設や設備の老朽化が著しく修繕を繰り返しており、このまま施設を安全に利用し続けることが難しいため解体 (R8.4 工事のため閉鎖)。施設の跡地は公園 (R9.4 完成)として活用。これまで公民館で活動していた方々は、愛の郷、ハーティセンター秦荘等を利用できる。

・旧愛知川警部交番 警察官舎



防犯面や安全面、景観面に問題があるため建物を解体。跡地は来庁者や職員の駐車場として整備 (R5.7 解体完了、R7.1 舗装完了)。

⑧ 昨年3月のパブリックコメントで出された意見をどのようにに反映したのか。

⑨ 建物の耐用年数をどのように理解しているのか。

⑩ 利用目的を変えれば長く使えるのではないのか。

など、説明会で納得できる回答ができなかった厳しい意見・質問については掲載していません。その後の説明動画を見ての感想も含めて、住民から出された意見・質問のすべてを、行政の回答とともに公表すべきです。

11月号では、秦荘庁舎と愛知川庁舎について説明していますが、住民説明会の資料に比べ簡単に過ぎてQ&Aもなく、住民への情報提供としては不十分です。行政は、諸団体の方々との意見交換の場や約60回の自治会ミーティングなどで「合併した町なのだから当たり前」「いつまで時間をかけるのか」「そもそも今まで向き合ってこなかったことが問題」など前向きな理解があることを強調しますが、愛知川区の自治会ミーティングでは最適化の話など、まったく出てきませんでした。

私も公共施設の最適配置の必要性を十分理解しており、議会でも基本的に賛成の立場から発言してきました。しかし、今のままでは10年後、20年後にどのようなまちを目指すのかという「まちの将来像」がまったく示されていません。

スマホが初めて発売されたのは2008年、「家族葬」という言葉が定着したのは2010年頃、それからまだ20年も経っていません。社会は私たちの想像をはるかに超えて大きく変化してきました。このまま公共施設の最適配置だけを先に進めようとしても、住民の理解と納得を得られないだけでなく、将来

「こんなはずではなかった」と後悔することになりかねません。建物は壊してしまえば「お終い」なのです。

私は一般質問で、「今回の案を謙虚に見直して、修正すべきは修正し、主張すべきは主張して、もう一度住民に説明してはどうか」と提案しました。町長は「これまで各委員会を経て、議会とのすり合わせや意見交換、住民の意見聴取も踏まえて完成したものである」として応じていただけませんでした。私たちが議員に対しては「最適配置の背景や必要性を住民の皆さまに伝えていただきたい」とおっしゃいました。私も住民の皆さまに計画の内容を十分知っていただきたいと思っています。

愛知川区の区長として、町長を招いて住民の皆さまと行政との意見交換の場を設けようと思っています。

	高齢化率	加入世帯率
全世帯計	22.8%	74.8%
秦荘東	31.6	78.0
秦荘西	24.1	75.1
小計	28.4	76.8
愛知川東	19.9	76.7
愛知川	19.3	73.1
小計	19.5	74.5



20年後に自治会(町内会)は 存続できるのか?



皆さまご存じのとおり愛知川区では、長年続けてきた字民運動会が廃止になりました。愛知川堤防の草刈りでは、参加を免除する高齢者のみ世帯の年齢要件を70歳以上に引き上げました。防災組織の班員に後期高齢者を充てざるを得ない町内会もあります。総代から民生委員・児童委員に至るまで、役員の人選も大変です。

行政文書等の配布(毎月2回、年間24回)、社協会費・赤い羽根共同募金・緑の募金等の集金、ごみステーションの清掃(週2・3回)も大きな負担になってきました。愛荘町には現在52の自治会がありますが、どこも同じような問題に直面していると思います。

背景には、高齢化率の上昇と自治会加入世帯率の低下があります。加えて、定年延長や勤務形態の多様化、地域への帰属意識や連帯感の希薄化などがあり、いずれも地域における共助の力の低下につながります。

因みに、小学校区別の高齢化率と自治会加入世帯率(R4・4・1現在)を見ると、別表のとおり、加入世帯率が高い地域では高齢化率が高く、高齢化率が低い地域では加入世帯率が低い傾向が読み取れます。

私は一般質問で、「自治会を存続させるために、その負担を軽減する具体策を講じる努力をお願いしたい」と提案しましたが、副町長は「区長・総代に就任を依頼している委員の種類削減(5つ削減)や町広報の発行頻度削減(月2回から1回)を行った。今後もそれぞれの地域の声を丁寧聞きながら進めていく」と答え、「自治会がなくなるということは、住民が住むところがなくなることと等しい」と意味不明なことを言いました。

また、「自治会を対象に、行政からの委託業務への対応の実態や要望、自治会活動に関する課題等について、アンケート調査を実施し、その結果を踏まえて、自治会存続のための具体策を検討する委員会を立ち上げる」とも提案しましたが、担当課長は「区長訪問と自治会ミーティングによって、自治会の実情を伺っているので、改めてアンケート調査を行う予定はない」と答えました。しかし、負担が最も大きい末端の実働部隊である組長等の生の声を聴くべきです。

愛知川区長として、組長を含めた役員約90名を対象にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて、行政に自治会存続のための具体策を提案していくと思っています。

たかしの「声」



「地方議員は必要か」(NHKスペシャル取材班著、文春新書)を読みました。NHKが2019年1〜3月、全国の地方議員32,450人を対象に実施(回収率59.6%)したアンケート調査の結果です。

全部で17問ある中で、「政策や活動の優先順位を決める際に重視すること」では、「自身の意思・考え」という回答が、「とても重視」「ある程度重視」を合わせて97%と最も多く、次いで「支援者・支援団体の意見」が93%で続き、「電話・メール・街頭活動」で聞いた意見は66%と比較的少なくなっています。今まで特に意識したことはなかったのですが、この結果を見て、自分の考えや支援者の意見に偏っていないか、広く住民の皆さまのご意見に耳を傾けてきたかと自問自答しています。

地方議会の役割は「自治体としての意思を決めること」であり、選挙で選ばれた首長と議会の二つが独立して対等に向き合うのが二元代表制です。町の予算をどう使うのか、町長が提案する予算案に修正すべき部分はないのかをチェックして、議決するのは議会です。町の条例制定や副町長・教育長等の任命にも議会の議決や同意が必要です。議員として、正しい判断ができます。

るように、もっともつと暮らしの現場を見て、もっともつと皆さまの生の声を聴かなければならないと覚悟を新たにしております。

他に、「生まれ変わっても議員になりたいか」という質問もあり、「そう思う」が28%でした。「お前はどうか」と問われて、「そう思う」と答えたら「そんなに議員の仕事はおいしいのか」と言われ、「そうは思わない」と答えたら「なんで議員になったんや」と言われそうです。「生まれ変わる前に、今は議員の本分を尽くすのみ」が私の答えです。

先日、コロナ補助金不適切処理問題が新聞やテレビで大きく報道され、住民の行政に対する信頼が揺らいでいます。将来のまちづくりには、行政と住民の強い信頼関係が何より大切です。これからは「信頼される行政、信頼される議会」の実現に向けて、「情熱で正々堂々、真面向勝負!」を貫いて頑張ります。どうか温かいご支援と厳しいご叱正をお寄せくださるよう、心からお願い申し上げます。



ご意見・ご感想・ご要望はこちらまで

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

もりの隆を育てる会

愛知郡愛荘町愛知川 744-1

TEL : 0749-42-6074 FAX : 0749-42-5574 携帯 090-3355-4319 ・ takashi0705@icloud.com



ご意見はこちらから